

「和食」「天橋立」「日本茶・宇治茶」の 世界遺産への登録について

【担当省庁】文部科学省、文化庁、農林水産省

日本が有する価値ある資産を世界に発信していくため、「和食」の「世界無形文化遺産」登録、及び「天橋立」「日本茶・宇治茶」の「世界文化遺産」登録に向けて、以下の検討をお願いいたします。

京都府からの提案

1 「和食」の「世界無形文化遺産」への登録

○ 登録に当たっては国をあげて和食の価値を海外に発信することが必要不可欠であり、本年秋に農林水産省と共催予定の「日本料理文化博覧会（仮称）」と同様の事業を海外でも展開されたい。

また、食文化の継承に不可欠な食育活動について、国において国民全体の取組として進めていただきたい。

○ 登録に当たっては、国として和食の保護・継承措置を講じることが必要不可欠であり、次の2点について、国として支援や取組を行っていただきたい。

① 和食の典型例である会席料理の文化的背景も含めた研究や、高水準の会席料理を提供する実践者の確保と継承者の育成を担う「高等教育機関」を文化と技術の蓄積のある京都に設置することとし、施設設備の整備等に対し財政的支援を行うこと。

② 和食の核となる会席料理人の技量を適正に評価し、維持していくための「会席料理文化技能保持者（仮称）」等の国家資格を創設すること。

2 「天橋立」「日本茶・宇治茶」の「世界文化遺産」への登録

○ 世界文化遺産登録を、日本文化の多様性と集積を世界に発信する「国家ブランド戦略」として位置づけ、「世界遺産暫定一覧表」の登録拡大を戦略的に推進していただきたい。

○ 「世界遺産暫定一覧表候補の文化遺産」において「I a」との評価を受けた「天橋立」を「世界遺産暫定一覧表」に記載されたい。

○ 世界的に評価の高い日本の茶文化を生子、育み、現在に伝えてきた、茶室・庭園・寺院・茶畑等で構成する「日本茶・宇治茶」の資産を「世界遺産暫定一覧表」に記載されたい。

京都府の現状・課題等

◆「和食」の「世界無形文化遺産」への登録

「和食」は、日本の食文化の粋であり、日本の美の象徴として世界的に保全する価値を有する文化であることから、「和食」の「世界無形文化遺産」登録により、世界への価値の発信とその保護継承の取組が必要である。

特に、和食の典型例である「会席料理」の高等教育機関や国家資格が必要である。

また、食文化の継承に不可欠な食育活動については、国の責任において、省庁間の連携を図り、全国的に展開することが必要である。

【現 状】

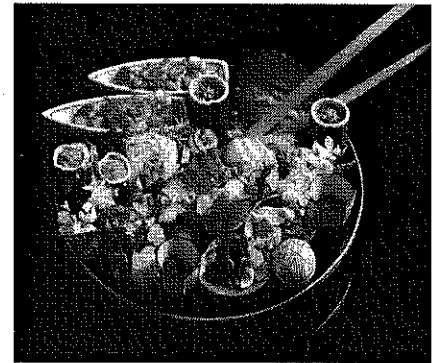
- ・平成 24 年 3 月末に文化庁からユネスコに登録申請

【課 題】

- ・国を挙げての登録に係る価値の理解や保護継承の取組が必要

【経 過】

- ・平成 23 年 6 月：京都府から国への政策提案
- ・平成 23 年 7 月：農林水産省において検討開始
- ・平成 23 年 11 月：農林水産省の検討会において「和食：日本人の伝統的な食文化」として登録を目指す方向で議論終了
- ・平成 24 年 2 月：文化庁文化審議会文化財分科会においてユネスコへの提案候補とすることを決定
- ・平成 24 年 3 月末：ユネスコへ登録申請



(和食)

◆「天橋立」「日本茶・宇治茶」の「世界文化遺産」への登録

(1)「ブランド戦略」について

我が国における「世界文化遺産」に係る「世界遺産暫定一覧表」への掲載については、平成 18・19 年度に地方公共団体からの提案を募ったが、その後、その拡大・充実には国の積極的な関与がない状況である。

世界文化遺産登録を「国家ブランド戦略」として位置づけ、積極的な国の関与を行う必要がある。

【現 状】日本の「世界遺産暫定一覧表」掲載数 12 件

(参考) 中国	52 件
イタリア	40 件
フランス	35 件
エジプト	32 件

(2)「天橋立」について

「天橋立」は次の観点から、その価値の世界への発信と保全の取組が必要であり、「世界遺産暫定一覧表」に記載することが必要である。

- ・「天橋立」を中心とする文化景観は、景観自体からの人への働きかけを受け止め、昇華してきた日本人の文化性、精神性を理解する上で欠かすことのできない遺産であること。
- ・自然と人が作り上げた白砂青松と重層的に展開する「海の信仰」の地として希有な例であること。

【現 状】

- ・平成 19 年度に検討を開始し、平成 20 年度に、文化庁の全国公募で「I a（提案書の基本的主題を基に提案地方公共団体を中心に作業を進めるべきもの）」の評価

(天橋立)



(3) 「日本茶・宇治茶」について

「日本茶・宇治茶」は次の観点から、その価値の世界への発信と保全の取組が必要であり、「世界遺産暫定一覧表」に記載することが必要である。

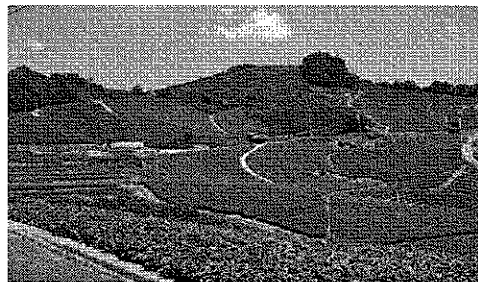
- ・中国で始まった喫茶習慣は、日本国内において世界的にも独特な発展を遂げ今日にいたり、世界に日本の茶文化として伝播することで影響を与えていること。
- ・日本文化の代表的な文化資産が集積している京都・宇治・山城は、この独特の日本の茶文化を、生産から製造、流通、喫茶、精神文化まで相互に対話を重ねながら、生み、育み、現在に伝えてきた地であること。

【現 状】

- ・平成 23 年度から検討開始。新たな世界文化遺産登録について文化庁への提案を準備中



国宝 待庵(京都府大山崎町)



茶畑(京都府和束町)

【京都府の担当部局】

政策企画部	計画推進課	075-414-4347
文化環境部	文化芸術振興課	075-414-4244
商工労働観光部	観光課	075-414-4837
農林水産部	農政課	075-414-4898
	食の安全・安心推進課	075-414-5656

日本料理文化博覧会 実施概要

開催趣旨

和食の世界無形文化遺産登録について、ユネスコへの申請が24年3月になされたことに伴い、無形文化遺産早期登録への機運の醸成を図るとともに、日本の食文化の普及啓発を図る。

事業案

日本料理文化博覧会実行委員会（仮称）

構成団体：農林水産省、京都府、京都市、日本料理アカデミー、京都料理組合、京都食品産業協会、JRO、NHK京都放送局、（株）TBSテレビ、（株）毎日放送

日本料理文化博覧会

イベント

KRP・WEEK

8月4日(土) リサーチパーク
・ワンコインで体験できる食のイベント
・「おいしさを科学する」食育講演会とパネルディスカッション

イベント

Cool京都展

10月5日(金)～8日(月)の1日
赤坂サカス
首都圏における京料理PRと東北復興支援

40周年記念会合 ランチビッフェ※

11月6日(火)・7日(水)
京都国際会議場
記念会合参加者の昼食として京料理をPR

食文化展示会

11月9日(金)～11日(日)
八坂倶楽部
全国の郷土料理を含めた「和食」を一堂に集めた展示会

セッション

11月9日(金) 西本願寺
世界無形遺産登録されている食文化の国とのセッション
・基調講演、パネルディスカッション

フォーラム

11月10日(土) KRP(仮)
京都発！みんなで育む食文化フォーラム

京の食文化体験

11月10日(土)夜
建仁寺
懐石料理の文化的背景の講習とミニ懐石体験

京の食文化の魅力発信

11月9日(金)～11日(日)の1日
平等院(仮)
京の食文化を支える京野菜、宇治茶の素晴らしさを一体的にPR

京料理デー

11月6日(火)～8日(木)
各料亭
記念会議に併せて特別料金で有名料理店の京料理が味わえる

※日本政府・世界遺産条約採択40周年記念事業京都実行委員会共催

スケジュール

8/4(土)	10月	11/6(火)	11/7(水)	11/8(木)	11/9(金)	11/10(土)	11/11(日)
KRP	cool京都展	京料理デー				食文化展示会	
		40周年記念会合			セッション	フォーラム	
						食文化体験	